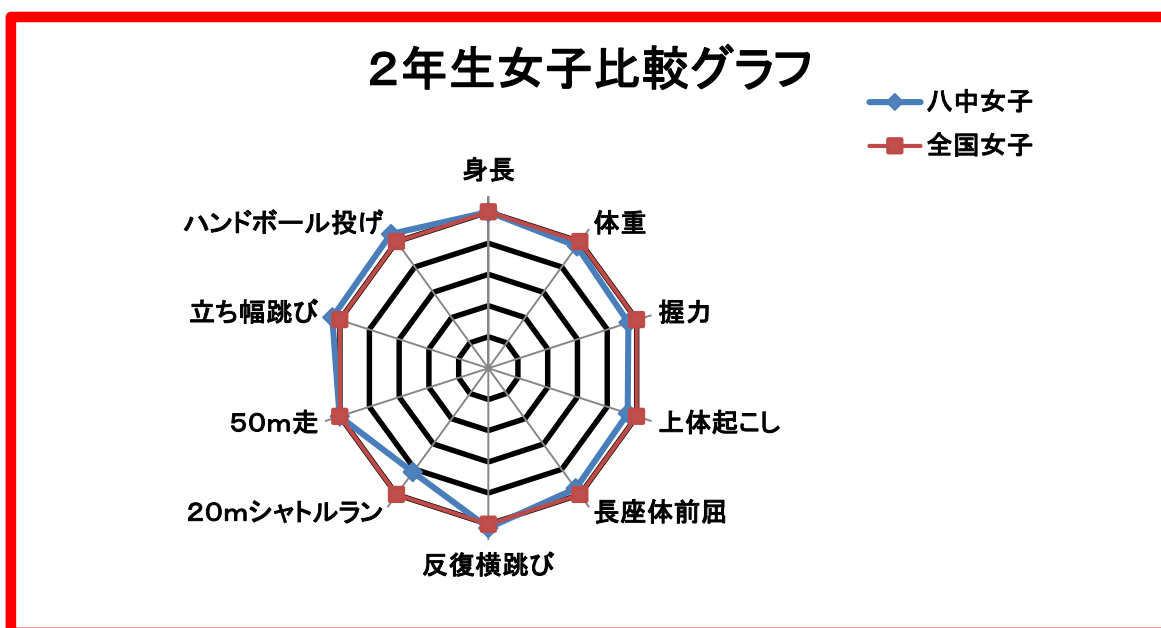
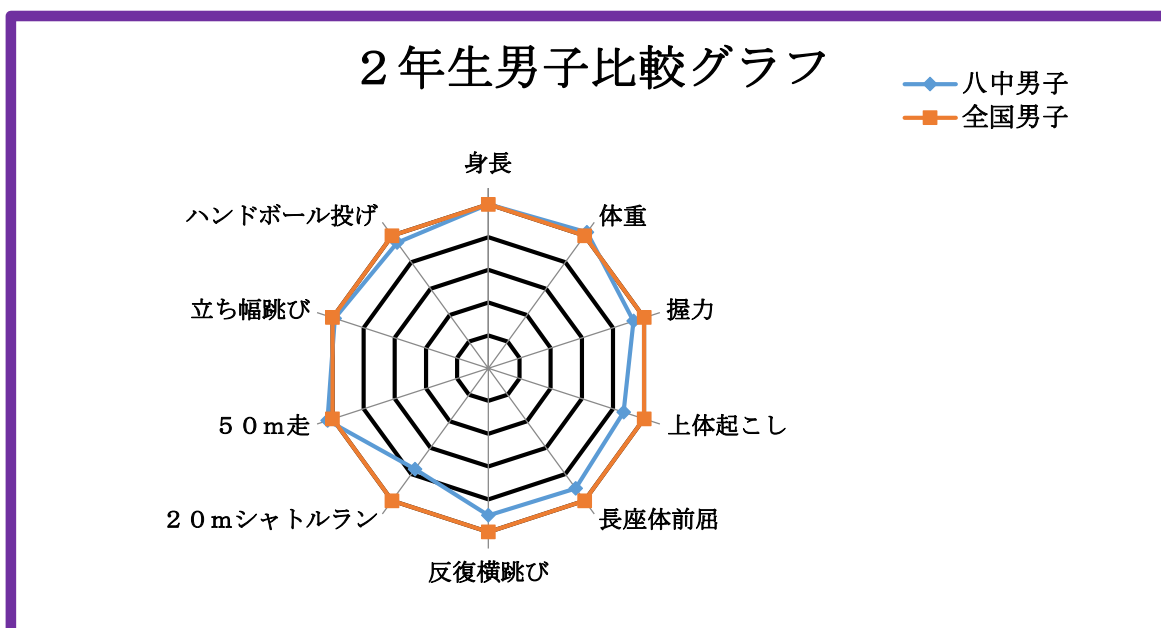


# 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果分析

本校では、平成30年6月に、全校生を対象に体力テストを行いました。その中から、2年生を対象として実施された全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果と比較し、まとめたものをお知らせいたします。

## 体力・運動能力の調査（体力テスト）結果



## ■体格調査

体格調査については、男女ともに身長は全国平均とほぼ同じという結果が出ました。

## ■体力・運動能力調査

### 【男子】

「立ち幅跳び」と「50m走」で全国平均とほぼ同程度の結果となっています。柔軟性、巧緻性、瞬発力については全国平均を下回る結果となりました。また、「20mシャトルラン」でも全国平均を下回りました。

### 【女子】

「ハンドボール投げ」「立ち幅跳び」で全国平均をやや上回りました。また、「50m走」「反復横跳び」でも全国平均と同程度の結果となっています。柔軟性、巧緻性においては全国平均をやや下回りました。「20mシャトルラン」では、全国平均を下回りました。

※分析…柔軟性、巧緻性、瞬発力は日常の生活や運動習慣の中で培われるため、保健体育の授業の帯活動としてそれらを補強する運動を取り入れる必要がある。それ以外の持久力や筋力などは、体力向上を目指し、工夫しながら運動に取り組むことが大切であり今後の課題となりました。

- ★ 運動習慣調査では「運動が好き」と答えた生徒が、男子は62.9%で全国平均と同程度、女子は59.0%で全国平均を上回っています。80%以上の生徒が運動部やスポーツクラブに所属していることが、全国平均を上回るまたは同等の数値結果につながっていると考えられます。
- ★ 中学卒業後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいという生徒が全体の約70%と多くいます。今後も様々な場面で運動する経験を通じて、体力の向上や運動への関心を高める指導を展開してきます。
- ★ 授業では、運動に対して一生懸命取り組む大切さを指導するとともに、授業内容の工夫や振り返り学習を通して、体力向上や技術向上を実感できるような効果的な取組を展開していきます。